

設立30年記念 ピティナ宝塚支部がお贈りする音楽の祭典

夢のガラコンサート

ピアノ
関本 昌平

© 飯島 隆

大阪フィルハーモニー交響楽団

2018年 **9月1日(土)**

14:00 開演 13:00開場

池田市民文化会館アゼリアホール

〒563-0031 大阪府池田市天神1-7-1
阪急宝塚線 石橋駅下車。西出口より徒歩約8分

入場料 5,000円(全自由席)

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※駐車場の台数には限りがあります。公共交通機関をご利用ください。

- ワーグナー / ニュルンベルグのマイスタージンガー前奏曲
- サン＝サーンス / 動物の謝肉祭 〈ピアノデュオ・ドゥオール〉
- チャイコフスキー / ピアノ協奏曲第1番 〈関本昌平〉

ピアノデュオ・ドゥオール
白水 芳枝 & 藤井 隆史

© 武藤 章



大杉 昌平

指揮 **三ツ橋 敬子**

お問合せ

090-9888-1017 中西
090-2105-5696 稲垣

お申込み

e-mail ptna-takarazuka@piano.zaq.jp
Fax 072-794-1553

チケットお取扱い

池田市民文化会館アゼリアホール事務所(池田市天神1-7-1) 072-761-8811

4月1日

チケット
販売開始

主催/ピティナ宝塚支部

後援/一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(PTNA 通称ピティナ)

Profile

ピアノデュオドゥオール Piano Duo Duo

藤井隆史：東京藝術大学付属音楽高校、同大学を経て同大学院修了。修了時にベーゼンドルファーリサイタルに出演。関谷由美、故・武田宏子、植田克己、K・シルデの各氏に師事。現在、武蔵野音楽大学講師。白水芳枝：兵庫県立西宮高校音楽科、東京藝術大学卒業。志水英子、池田世子、大富里子、笠間春子、井内澄子の各氏に師事。現在、国立音楽大学講師。

藤井は文化庁、白水は野村文化財団、また共に DAAD 特別奨学生としてドイツ・マンハイム音楽大学大学院にて R・ベッソ、P・ダン両氏に学び、コンツェルトエグザメン課程及びピアノデュオ科を最優秀修了。日欧でのソロでの活動と並行しながら、'04 年にドイツにてデュオを結成。イギリス、アメリカ、ドイツ、イタリア、チェコ、日本にて国際的な活動を継続中。

以後デュオを中心に、国内外にて 600 を超えるステージを踏み、リサイタル、コンチェルト、NHK-TV 及び FM 他放送出演、日演連クラシックフェスティバル、NEC ガラコンサート、トッパンホールシリーズ「Pianists」に招かれるなど活発な演奏活動を行い、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」[今最も旬な日本人演奏家]、また週刊オンステージ新聞「音楽ベスト 5」に選ばれるなど、聴衆や音楽誌から常に高い評価を受けている。結成 11 年目となる '15 年には、6 枚目 CD [2 台のピアノのためのゴルトベルク変奏曲] をリリース。3 作連続のレコード芸術誌「特選盤」及び 2016 年度レコードアカデミー賞器楽曲部門ノミネート盤に選出され、Tokyo-FM などでも放送される。

また、ピアノデュオでの後進の指導にも力を注いでおり、全国各地でのセミナー、アウトリー活動の他、影の国さいたま芸術劇場共催（8 月）、カワイ梅田協賛のピアノデュオセミナー（11 月）、洗足学園音楽、同志社女子大、相愛大などの公開講座など、ピアノデュオの道を切り拓く指導者としても各方面から後援の声が上がっている。

2018 年秋には 7 枚目 CD をリリース予定、東京（12.8.9）、大阪（11.24）、名古屋（11.3）にて発売記念リサイタルが予定されている。

公式サイト：www.yoshie-takashi.com 公式ブログ：http://ameblo.jp/yoshie-takashi/

関本 昌平 Shohei Sekimoto ———— ピアノ

1985 年生まれ。大阪府出身。

国際コンクール初参加の 18 歳で、第 5 回浜松国際ピアノコンクール第 4 位。2005 年、20 歳で第 15 回ショパン国際ピアノコンクール第 4 位、第 5 回モロコシ国際音楽コンクール優勝。

桐朋女子高校音楽科（共学）卒業後、2005 年エコール・ノルマル音楽院卒業（ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生）。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースを経て 2009 年より NY に移住。クラリネットのチャールズ・ナイディック氏の薫陶を受けるなど研鑽を積む。これまでに、稲垣千賀子、ミハイル・ヴォスレンセンスキー、二宮裕子の各氏に師事。

国内では、幼少よりピティナ・ピアノコンペティションに参加、B 級金賞、G 級金賞、コンチェルト部門最優秀賞、2003 年特級グランプリ。ショパン国際コンクール in ASIA 中学生部門及び第 2 回派遣コンクールいずれも金賞。第 8 回松方ホール音楽賞大賞、第 1 回福田靖子賞、第 15 回青山音楽賞新人賞、第 32 回日本ショパン協会賞受賞。

これまでに、ヴェルビエ音楽祭アカデミーコンサート（スイス）、アニメート音楽祭（パリ・コルターホール）、NY カーネギーホールでの 3 度によるコンサート出演、イタリア、ドイツでのリサイタル、ロンドン・カドガンホールでのイギリス室内管と共演など活躍。国内では、ワルシャワ国立フィルハーモニックとの国内ツアー、ザルツブルク室内管、兵庫芸術文化センター管、関西フィル、日本フィル、読響、NHK 響、大阪フィル、日本センチュリー響、大阪交響楽団等と共演。CD は「ショパン・リサイタル」(ALM)「ブラームス後期作品集」(Sony Music Direct) をリリース、朝日新聞他で取り上げられた。2012 年完全帰国。

2013 年、NY オライオン弦楽四重奏団とのツアー、テレビ朝日系「題名のない音楽会」、第 32 回横浜市招待国際ピアノ演奏会出演。

2014 年～2015 年、「オール・ショパン」プログラムで、大阪、岐阜、横浜で演奏。

2015 年～2016 年、「シュペルト：冬の旅」を河野克典氏と共演、長野芸術館開館記念「ベートーヴェン交響曲

全曲演奏会（リスト編曲版）、ピアノと物語「ジョルジュ」（朗読：竹下景子他）等に出演。

2017 年～2018 年、ザ・シンフォニー・ホール主催「ベートーヴェン三大ソナタ」[「ベートーヴェン三大ソナタ」] でリサイタル、また、ホール開館 35 周年記念三大協奏曲に招かれた。

現在、岐阜県在住。後進の指導にも熱心で、全国各地のセミナーやマスタークラスに招かれている。金城学院大学及び菊里高校非常勤講師、名古屋音楽大学客員准教授。

三ツ橋 敬子 Keiko Mitsuhashi ———— 指揮

東京藝術大学及び同大学院を修了。ウィーン国立音楽大学とキジアーナ音楽院に留学。第 10 回アントニオ・ベロッチイ国際指揮者コンクールにて日本人として初めて優勝。第 9 回アルトゥーロ・トスカニニ国際指揮者コンクールにて女性初の受賞者として準優勝。併せて聴衆賞も獲得。第 12 回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。

これまでに国内の主要オーケストラへ客演する他、ヨーロッパでの定期演奏会にも客演を重ねている。2016 年 8 月にはタン・ドン（指揮）と共にサントーロ 30 周年記念 国際作曲委嘱作品再演シリーズで「武満徹：ジェモ（双子座）」を指揮し成功に導いた。

大阪フィルハーモニー交響楽団 Osaka Philharmonic Orchestra

1947 年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で創立、1960 年、改称。創立から 2001 年までの 55 年間朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務め、大阪フィルは個性と魅力溢れるオーケストラとして親しまれてきた。大植英次音楽監督時代には、「星空コンサート」「大阪クラシック」といった大型プロジェクトで注目を集めた。

2014～2016 シーズンは井上道義を首席指揮者に迎え、「ショスタコヴィチ／交響曲第 4 番」、「交響曲第 7 番」、「交響曲第 11 番」の録音を相次いでリリース、高い評価を得た。2018 年 4 月、尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホール（大阪・中之島）を中心に全国各地で演奏活動を展開。平成 29 年度文化庁芸術・優秀賞、2017 年度関西音楽クリティック・クラブ賞大賞、大阪文化賞、大阪文化祭賞受賞。

http://www.osaka-phil.com